

平成 28 年度第 2 回大阪府立豊中高等学校学校協議会議事録

日 時 平成 28 年 7 月 15 日 (金) 16:00~18:00

場 所 校長室

出席者 (敬称略)

委 員 越智克司、杉本彩二郎、岩元宏司、大川雄司

校 長 平野 裕一

事務局 石田利生 (教頭)、上林卓也 (首席)、朝倉淳 (首席)

(教科主任) 綾城幸則、赤松史郎、松井健大、中川人司、山西佑輔、手代木佑衣子、安福一貴、伊藤友博

1. 校長あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 協 議

◆平成 29 年度使用の教科用図書について

(教 頭)

6 月 6 日に教科用図書選定調査委員会を発足し、平成 29 年度使用の教科書について調査研究を行ってきた。本日の学校協議会において審議状況の報告や教科書選定に向けた意見交換を行い、7 月 19 日開催予定の第 5 回調査委員会で教科書選定の最終決定と報告書を作成したいと考えている。

選定理由は各教科主任から説明させていただく。また、各教科で選定した教科書かを持参しましたので、それも併せてご覧になっていただきたい。

(国語科)

- ・国語総合について、来年度の改定に向けて各社工夫してきており今回 3 社による選定を行ったが、結論としては筑摩書房とすることとしたい。筑摩書房は文書の難易度も本校の生徒にとって適切なレベルであり、また、平和教材としてベトナム戦争とアウシュビッツの両方を扱っているのもポイントとなった。
- ・現代文 B (筑摩書房) については、昨年度から使用している教科書で、難易度も高く量も多いため、生徒がこなせないのではないかという議論もあったが、国語科としては生徒の習得すべき学力相応と判断し継続することとした。

(社会科)

- ・世界史 B、日本史 B、地理 B など「B」の教科書は、入試科目に対応している教科書であり、センター試験などを意識して教科書を選定した。歴史については、ここ数年山川を採用してきており、倫理・政治経済についても受験に対応したものを選定している。
- ・一方、世界史 A、地理 A など「A」の教科書は、直接受験科目で選択する生徒はいないことが多い。このため、生徒が様々な発想を引き出せるテーマ学習として取り組めるものを選定した。

(数学科)

- ・1 年生は大学入試も見据え難解度の高い数研出版を選定した。数研出版は、問題の種類や分量が豊富であり、授業での進めやすさというものも考慮して決定した。
- ・2 年生、3 年生は、同じシリーズを継続し数研出版とした。

(理科)

- ・基礎科目が今回改定となり、各社ともカラフルな教科書を出版してきた。選定にあたっては、カラフルというだけでなく、生徒にとって分かりやすく内容がしっかり記述されているものという観点で選定した。

- ・理科は自然現象を学ぶ教科であり、イメージを捉えることが非常に大事。その点で図や写真を多く使用しているものを選んだ。物理や化学については、改定版から用語の下に英語表記をしているものが増えた。英語で発表する機会も増えており、理科を学習しながら英語も学べるのはいいことだと考えている。

(保健体育科)

- ・大修館の現代高等保健体育改定版を選定した。心身の健康や安全に関して発展的な内容が記載されており、図、表、統計資料や構成も明確で理解しやすく、本校の生徒に適していると判断した。

(芸術科)

- ・芸術は1年生のときに音楽、書道、美術の中から1科目を全員が選択することになっている。2年生では文系の生徒のみが引き続き1年生と同じ科目を選択することになっている。音楽は、サイズが大きく楽譜も見やすいものを選んだ。美術はレイアウトが美しく見やすいものを選んだ。書道は硯などの製造過程の写真があり生徒の興味を引きやすいものを選んだ。

(英語科)

- ・英語は、英語コミュニケーションと英語表現に分かれている。英語コミュニケーションはトピックスが最近の入試問題にどれだけ直結しているかを、また、英語表現は文法が系統的に盛り込まれているかなどを重視して選定した。

(家庭科)

- ・家庭科の特徴である実践的、体験的な学習を助ける実践課題(実習、実験、試料)が豊富に掲載されているものを選定した。

(情報科)

- ・東京出版の教科書は理論編と実習編のページが用意されており、豊中高校の授業の進め方に合っていることから、本年度1年生は東京書籍の教科書に変更した。2年生は前年度からのものを継続使用とした。

【質 疑】

Q：出版社を変更するにはリスクが生じるものなのか。

A：教科書の改訂時期は決まっており、各社一斉に改訂を行う。大きく内容を変更するのかもしれないかは出版社によって異なる。教科書の選定にあたって、改訂がない場合には継続性ということもあるが、一斉改訂の場合には新たな視点から教科書を選定することになる。

【総 括】

- ・先生が時間をかけて選定したものと認められる。特に問題はなくこれで進めていただきたい。
- ◆授業アンケート及び学校教育自己診断について
 - ・授業アンケートは、教員の評価育成の観点で実施しており、7月と12月の年2回実施することになっている。授業アンケート結果の結果を踏まえ、第2回目の授業アンケートに向けて先生及び教科で授業改善を行い、その結果を第3回学校協議会で意見をいただくことになる。
 - ・学校教育自己診断は、9月に生徒、保護者、教員に対してアンケートを実施し、学校として評価した上で、来年度の教育活動に反映させるものである。
- ◆次回開催日について
 - ・第3回目は、12月で西澤会長と調整のうえ通知することとしたい。

以 上